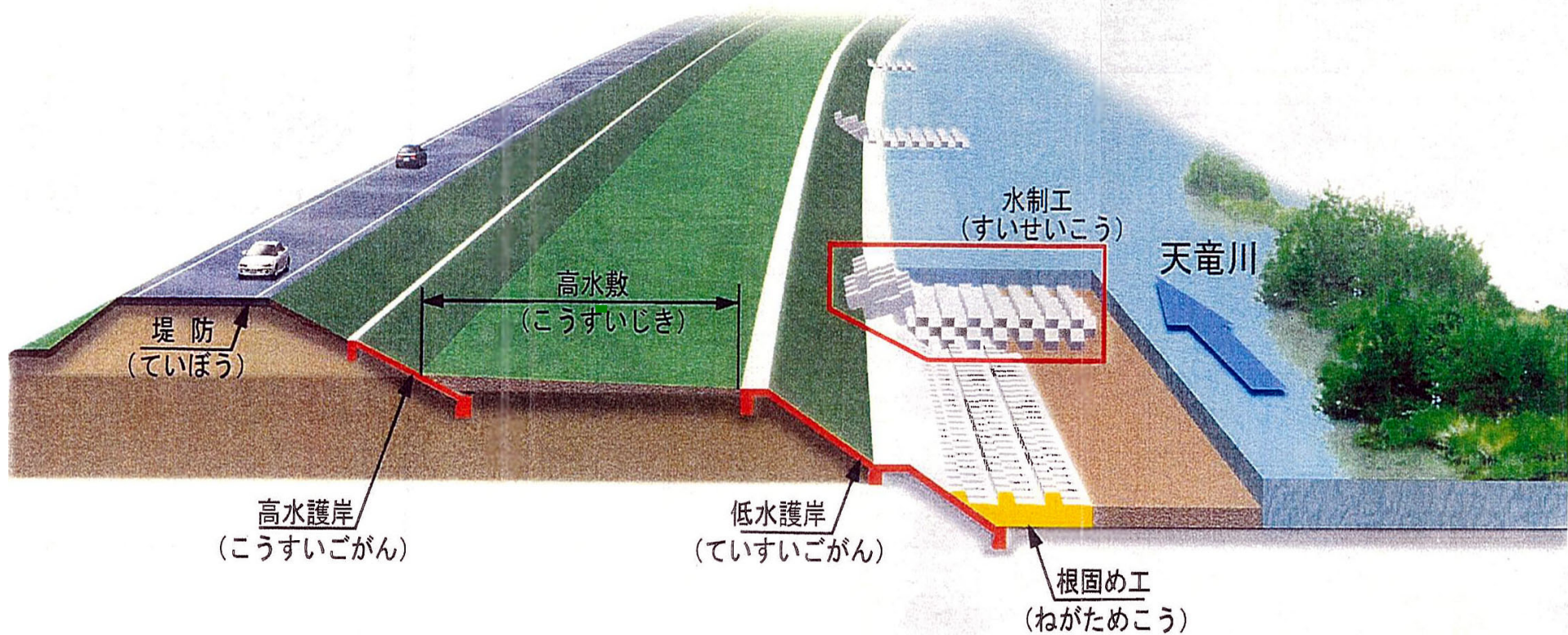


天竜川流域委員会下流部会
第2回 下流部会
資料－ 7

下流部会資料 (追加情報)

追加情報①

○水衝部の水制設置は洗掘防止には効果があるが、淵の形成には逆効果。河川整備のプラス面とマイナス面の双方に関する情報提供が必要 (第2回現地調査会 質疑にて)



洪水を防ぐための河川施設

整備目的(水制)

主に大河川の湾曲部：流水の方向を規制して低水河道を固定し、河岸または堤防への水あたりを緩和する

急流河川等：洪水時の流速を緩和し、流水の侵食作用から河岸または堤防を保護する

デメリット

- ・水制は水の勢いに対抗するため、天竜川ではコンクリートを用いるが、コンクリート以外の材料を使う例もある
- ・水制は河岸への水あたりを緩和するため、川で運ばれる土砂が溜まりやすくなり、既存の淵がなくなることもある

河口から5.0km付近右岸の状況

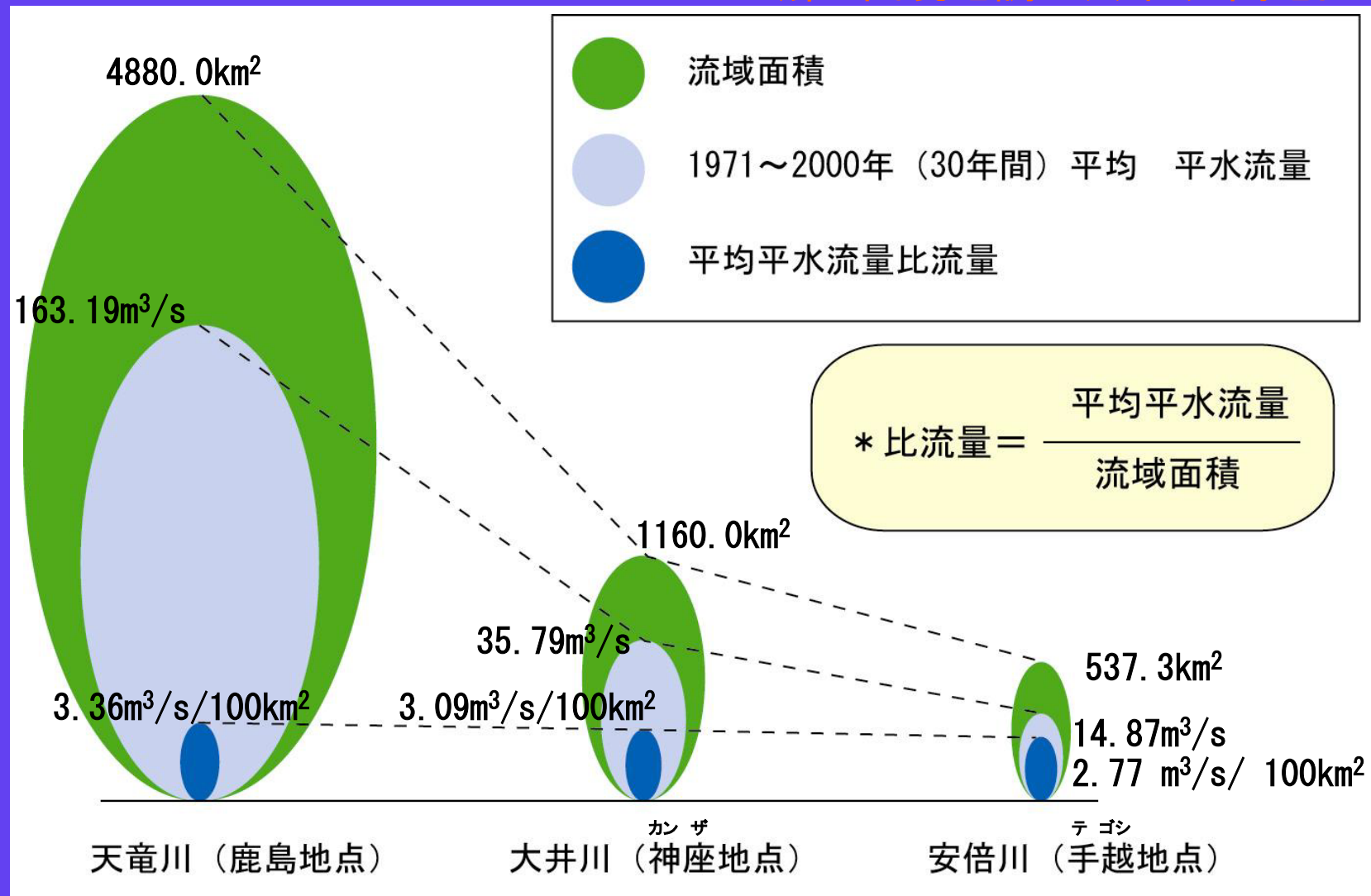
- ・従前の水制が洪水により崩れ機能低下した状況(右上)
- ・護岸上部に植生の生育を可能とした工法を採用し水制を施工した直後の状況(右中)
- ・時間が経過し、土砂が堆積した状況(右下)



追加情報②

○水量が川の規模に比べ少ない

(第2回現地調査会 佐久間地区にて)



流域面積、平均平水流量の近隣急流河川との比較

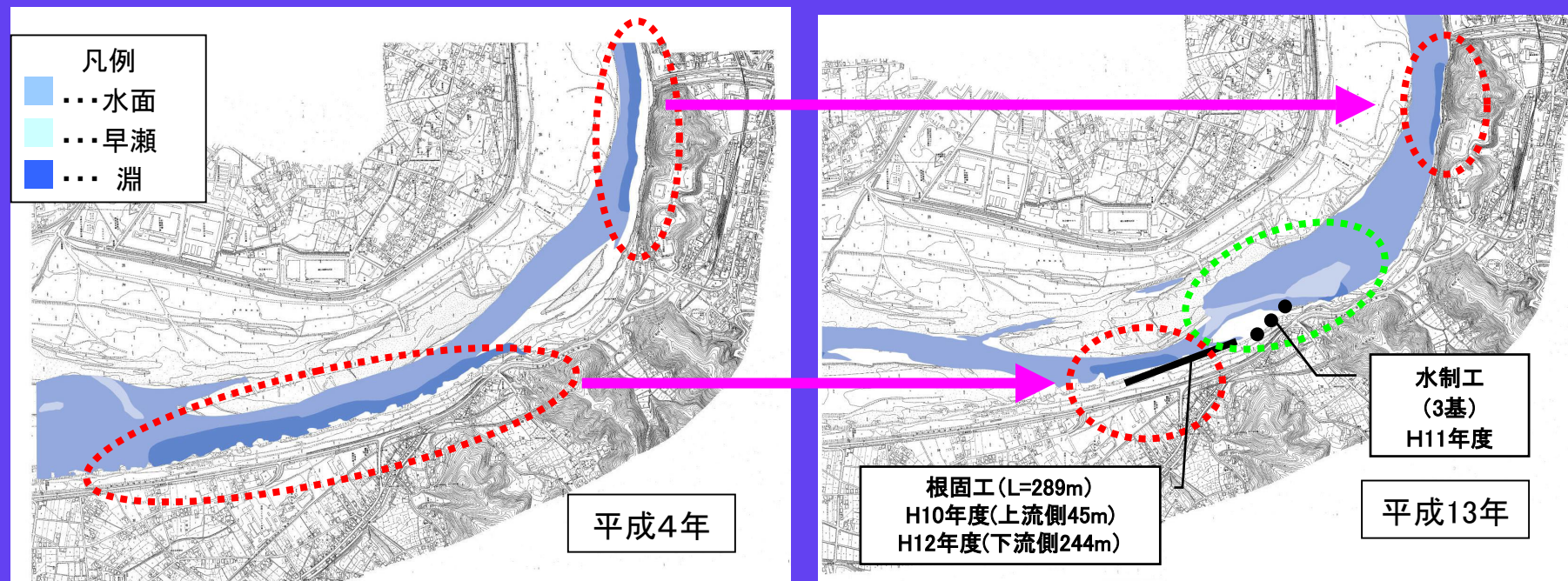
追加情報③

○淵が埋まってきている (第2回現地調査会 佐久間地区にて)

○瀬と淵の数は、平成4年と平成13年で比較すると、いずれも増加している

| | 平成4年 | 平成13年 |
|----|------|-------|
| 早瀬 | 49 | 66 |
| 淵 | 30 | 39 |

○野部地区周辺の瀬淵は、淵が縮小し、早瀬が新たに形成されている

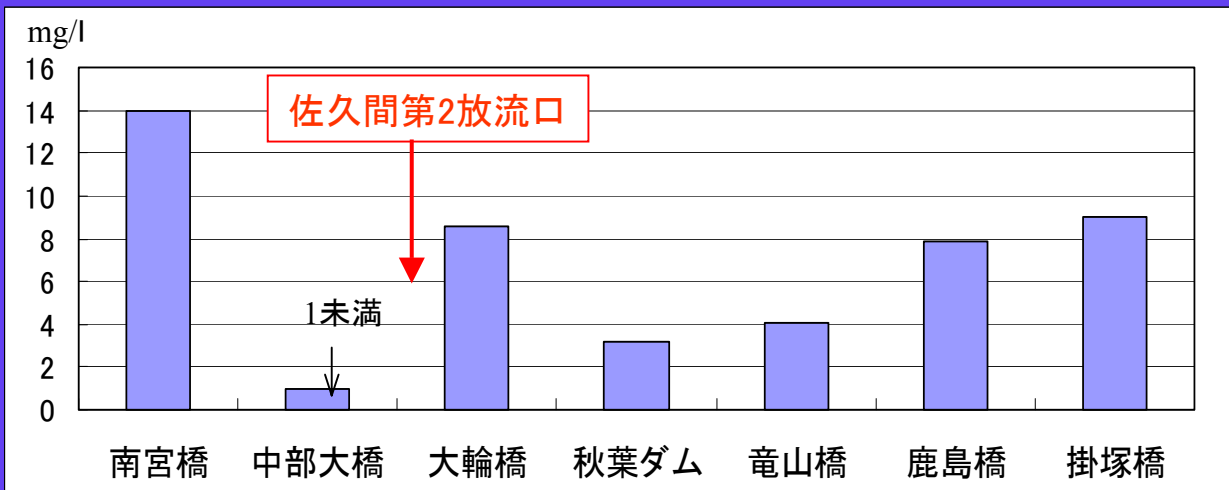


野部地区 (22~24km) における瀬と淵の変化

追加情報④

○放流口の濁度はどのくらいか。どのくらいの濁度の違いがあるか (第2回現地調査会 渡ヶ島地区にて)

○佐久間第2発電所放水口の上流(中部大橋^{なかべ}地点)と下流(大輪橋^{おおわ})の浮遊物質質量(SS)を比較すると、若干上昇が認められるが、通常は10mg/l未満の比較的低い値を示す



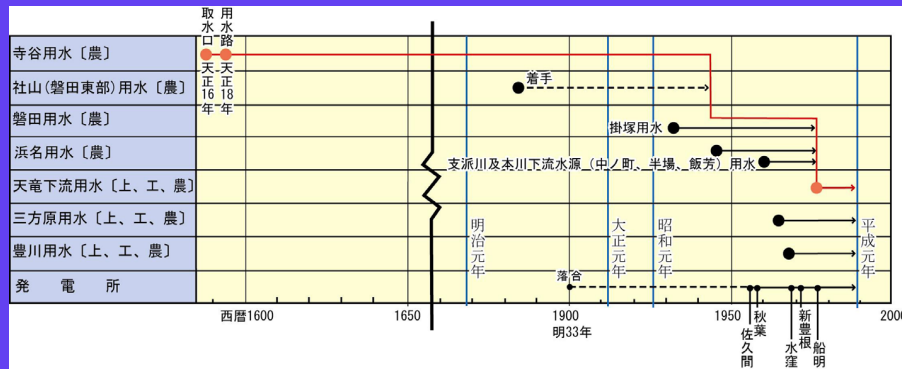
浮遊物質質量(SS)比較図 (H14.8~H15.7の平均値)



追加情報⑤

○ 渇水時の農水・工水・上水の必要量と流量との関係から渇水状況を明らかにする必要がある

(第2回現地調査会 質疑にて)



利水事業の経緯

天竜川下流利水現況模式図

